

東日本大震災の救護へ医療救護第8班が出動

救護班第8班は、6月4日から6月7日まで福島県会津若松市の会津保健福祉事務所を拠点とし、福島原発の影響で旅館・ホテルなどに二次避難している住民の診療に、救護班（医師1名、看護師2名、主事1名）に加え、薬剤師、保健師、管理栄養士、こころのケアチームなどの多職種の医療従事者が協働し医療支援にあたりました。

避難生活が3ヶ月近くと長期化しているために精神的なストレスの訴えが多く、避難者だけではなくそこに詰めている行政職員や、対策本部のある保健所の職員、受け入れている旅館・ホテルの従業員まで疲弊しているという状況であり、ストレス過重が心配されました。

お忙しいなか、現地で温かく迎えてくださったスタッフや調整員の方々に深く感謝いたします。

